

災害時のトイレ問題に提案します！

災害に備えた生活空間のつくりかた

アースウィークくまもと 2017 の特別企画として以下の日程で「災害時のトイレ問題を考える」イベントを実施します。

被災しても生活は続く。災害時のライフラインが断たれた時、水洗トイレの使用ができず飲食を制限したり、災害トイレキットがあってもゴミ処理が困難になったりしました。

環境問題に「正義ではなく、責任で臨む」のぐそ歴 43 年の糞土師 伊沢正名(いざわまさな)氏を招き、講演とフィールドワークを通じて災害時のトイレ問題の解決法を提案していただきます。

また、JICA の海外展開支援によりアフリカでバイオトイレの普及をしている合同会社 TMT.Japan(大分)の紹介を予定。

【日時】 2017 年 5 月 13 日(土) 13:00~17:30 (12:40~開場)

【場所】 熊本市現代美術館 アートロフト

【参加費】 無料 (90 名収容可)

【プログラム】

13:00~ 開会あいさつ

13:10~13:30 「アフリカでバイオトイレを普及してます！」

JICA の支援により海外展開をした合同会社 TMT.Japan(大分県)のバイオトイレ普及について紹介

13:30~15:30 「災害時のトイレ問題、提案します！」講師:糞土師 伊沢正名 氏

ライフラインがストップしても思いっきり、かつ、持続可能なトイレの方法を提案します。

15:30~16:00 伊沢氏への質問などを交えながら徒歩移動

16:00~17:30 フィールドワーク「トイレのお供、やさしい葉っぱを紹介します！」

身近にある植物でどれがおしりにやさしいのか、フィールドワークで学びます。

17:30 までに現地解散

【主催】 独立行政法人 国際協力機構 九州国際センター(JICA 九州)

【後援】 アースウィークくまもと 2017 実行委員会,合同会社 TMT.Japan,熊本市教育委員会(予定)

【本件に関する問い合わせ先】

熊本市国際交流会館内 JICA デスク熊本 阿南(あなん)

TEL : 090-7167-4233

e-mail : jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.co.jp